

令和2年度第3回浜松市地域公共交通会議

会議録

1 開催日時 令和3年1月18日（月） 午後2時00分から午後3時30分まで

2 開催場所 浜松市役所 北館1階 101・102会議室

3 出席状況

会長

大村 兼資（浜松市都市整備部長）

副会長

中野 民雄（静岡文化芸術大学デザイン学部准教授）

委員

仲野 弘己（静岡県交通基盤部都市局地域交通課長）

代理 長田 清孝

諸井 宏司（遠州鉄道株式会社運輸事業部長）

伊藤 尚吾（浜松市タクシー協会会長）

堀内 哲郎（一般社団法人静岡県バス協会専務理事）

大西 優二（静岡県タクシー協会浜名湖北遠支部長）

代理 大石 勝也

田口 博（南区自治会連合会長）

川出 虎義（北区自治会連合会長）

松下 敏昭（浜北区自治会連合会長）

三室 正夫（天竜区自治会連合会長）

杉山 きよ子（浜松いきいきネットワーク代表）

江間 綾子（中部運輸局静岡運輸支局首席運輸企画専門官）

高須 博幸（浜松市土木部長）

小澤 達也（浜松中央警察署規制係長）

三室 雅仁（浜松東警察署規制係長）

加藤 篤（浜松西警察署規制係長）

代理 萩田 誠吾

伊藤 康志（浜北警察署規制係長）

代理 森 祐人

武田 道成（天竜警察署規制係長）

代理 鈴木 徹也

前嶋 克律（細江警察署規制係長）

オブザーバー

黒澤 伸行（浜松市都市整備部都市政策調整官）

事務局

鈴木 浩治（交通政策課長）

竹村 雅彦（交通政策課長補佐）

鈴木 啓史（交通政策課交通計画グループ長）

井口 哲（交通政策課交通計画グループ）

牧野 嘉文（交通政策課交通計画グループ）

近藤 大樹（交通政策課交通計画グループ）

若林 千尋（交通政策課交通計画グループ）

太田 正幸（北区まちづくり推進課長）

青木 久実（北区まちづくり推進課環境交通グループ長）

黒柳 紀博（北区まちづくり推進課環境交通グループ）

竹村 吉弘（天竜区まちづくり推進課長）

齋藤 慎悟（天竜区まちづくり推進課計画交通グループ長）

吉田 久記（天竜区まちづくり推進課計画交通グループ）

古川 成規（天竜区まちづくり推進課計画交通グループ）

天野 文彦（学校教育部教育総務課支援グループ長）

4 傍 聴 者

11人

5 議 事 内 容

〔協議事項〕

（1）地域公共交通確保維持改善事業について（国庫補助）

・制度概要

① 地域間幹線系統確保維持計画（県計画）〔意見把握〕

R2 事業評価〔対象期間 R1.10～R2.9〕

R4 計画策定〔対象期間 R3.10～R6.9〕

② 地域内フィーダー系統確保維持計画

R2 事業評価〔対象期間 R1.10～R2.9〕

R4 計画策定〔対象期間 R3.10～R6.9〕

③ 生活交通改善事業計画

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業

R1 事業評価〔対象期間 R1.4～R2.3〕

R3 計画策定〔対象期間 R3.4～R6.3〕

バリアフリー化設備等整備事業（鉄道関係）

R1 事業評価〔対象期間 R1.4～R2.3〕

R3 計画策定〔対象期間 R3.4～R6.3〕

バリアフリー化設備等整備事業（バス関係）

R1 事業評価〔対象期間 R1.4～R2.3〕

- (2) 天竜地域通園通学タクシーについて（浜松市）
 - ・熊線、阿多古線、只来線（新規バス停の設置）
 - ・大倉線（路線追加）
- (3) 自主運行バス北遠本線の運行変更申請について（浜松市）

〔報告事項〕

- (1) バス事業の現状と今後の路線運営について（遠州鉄道）
- (2) 引佐地域バスのバス停廃止及び新設について（浜松市）
- (3) 豪雨災害に伴う通行止め等の対応について（浜松市）
 - ・天竜地域バス（門原線）
- (4) 地域公共交通会議 書面開催議決事項について（浜松市）
 - ・天竜地域バス（熊・阿多古線）の運賃・バス停名の訂正
- (5) 浜松市総合交通計画・浜松市地域公共交通網形成計画の見直しについて（浜松市）

その他 次期委員の選出について

6 会議録作成者 交通政策課交通計画グループ 近藤 大樹

7 記録の方法 発言者の要点記録
録音 有

8 会議記録

1 開会

- ・本日の出席は全委員 22 人中 20 人の出席であり、要綱第 9 条第 2 項の規定により過半数を満たしているため本会議が成立することを報告。
(出席者 20 人中 代理出席 5 人、欠席 2 人)

2 会長挨拶

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、11 都府県に緊急事態宣言が発出され、現時点でも、宣言の対象地域の拡大も検討されているとの報道もある。
- ・本市での感染状況も、毎日のように陽性者の報告があり、委員の皆様においても、引き続き感染対策には、十分にご留意していただきたい。
- ・コロナ禍の公共交通の状況としては、昨年 4 月の利用者数は、前年比約 50%程度まで減少し、現在は、その時点からは少し回復したとはいえ、交通事業者は、大変な状況になっている中で、換気や消毒など十分な感染対策を行いながら 運行を維持していただいていることに、心より敬意を表したい。
- ・国道 152 号及び、迂回路の通行止めに伴い、折り返し運行していた北遠本線について、昨年末の国道 152 号の通行止め解除に伴い、本年 1 月 4 日から運行が再開したので、本日の議題の中で、報告させていただく。

3 議事

〔協議事項〕

(1) 地域公共交通確保維持改善事業について（国庫補助）

制度概要

【交通政策課】

- ・国の補助制度である地域公共交通確保維持改善事業の各事業について、制度の概要を説明する。
- ・本市では、公共交通に係る取り組みとして、今年度末に、総合交通計画の見直し、地域公共交通網形成計画の策定を予定しているが、計画に記載の施策の中には、国支援制度を活用して、地域公共交通の確保や改善を実施していくものもある。
- ・国支援を活用することで、今後も継続して事業に取り組み、持続性のある公共交通を目指す。
- ・地域公共交通確保維持改善事業の補助メニューの地域公共交通確保維持事業は主にバス事業の取り組みとして、都道府県を主体とした取り組みと市町村を主体とした取り組みについて、補助を受けている。
- ・都道府県を主体とした取り組みは、本市で旧市町をまたぐような広域的なバス路線について、地域間幹線系統として、評価・計画を立てる。
- ・市町村を主体とした取り組みは、天竜区や北区などで運行している浜松市地域バス事業について、地域内フィーダー系統として、評価・計画を立てる。
- ・地域公共交通バリア解消促進事業は、公共交通のバリアフリー化を支援する制度で、バリアフリー化設備等整備事業、鉄道軌道安全輸送設備等整備事業について、評価・計画を立てる。

●質疑応答

-なし-

① 地域間幹線系統確保維持計画（県計画）〔意見把握〕

【静岡県地域交通課】

- ・地域を跨ぐ路線の県内 59 系統について、令和元年 10 月から令和 2 年 9 月まで運行する路線について、評価を行った。
- ・補助対象事業が適切に行われているか、評価結果を分析し、事業改善につなげるため、などのために評価を行っている。
- ・令和 2 年度は A 評価が 10 系統、B 評価が 44 系統、C 評価が 5 系統であった。
- ・今年はコロナ禍により、運行回数や利用人数が達成できなかったことから、評価が前年より下がっている。
- ・利用促進や収支改善などに加えて、コロナ禍でも安心して乗車していただく対策が必要と考える。

【秋葉バスサービス㈱】

- ・今年度は秋葉線については、B 評価であった。
- ・天竜高校春野校舎など沿線に 3 つの学校があり、緊急事態宣言により、休校となったことから、大きく利用者は減少したが、現在は前年並みに回復している。
- ・収支率は街中の路線と比較すると利用者が限られるため、35.2%と高くないが、市

町を跨ぐ広域的な移動をする利用者が多い路線である。

- ・運転手の対面点呼で検温や顔色確認に加えて、飛沫防止シートを張ることでコロナ対策を実施している。

【遠州鉄道株】

- ・各路線の評価結果は10ページに記載のとおりである。
- ・コロナ禍による緊急事態宣言の発出により、減便等を行ったことで、運行回数が減少した。また、利用人数も減少した。
- ・増収策として、バスデータを活用して、旅客動向に応じたダイヤ編成を行った。
- ・費用削減策として、個人の運転技能を見える化し、指導を行うとともに、燃費向上につなげた。
- ・令和4年度計画、No. 21～25について、新たな補助対象路線として計画申請する。

【交通政策課】

- ・令和元年10月から浜松市自主運行バスとなったため、本市から説明する。
- ・80、81ページの乗車人員の計画数値を6,336人から13,807人に訂正する。
- ・コロナ禍及び152号線の通行止めにより、利用人数は計画を下回った。
- ・令和4年度の運行計画について、No. 20までは引き続き運行する。No. 21～25については、新たな補助対象路線として、計画申請する。
- ・85ページに、浜松市の地域間幹線システムに対する利用促進策を記載した。来年度以降も継続して実施していく予定である。

●質疑応答

-なし-

●協議

結果 ・全会一致で了承された。

② 地域内フィーダー系統確保維持計画

【交通政策課】

- ・87ページに地域バスの、令和2年度の評価を記載している。
- ・④事業実施の適切性は、全地域で運行されており、すべてA評価とした。
- ・⑤目標・効果達成状況は、目標収支率20%への達成状況、地域の取り組み評価の2つで総合的に評価した。
- ・地域の取り組みについて、細江、浜松北地域は、自治会による協力金やバスの説明会、時刻表配布などの啓発活動の実施により、A評価とした。
- ・浜北は、利用者限定のサービス券の配布や浜松観光大使によるSNS発信などを実施したことで、A評価とした。
- ・一方、春野、熊・竜川、門原、すがり、三ケ日は地域の活動が乏しくC評価とした。
- ・C評価の地域では、次年度には良い評価が得られるよう、啓発していきたい。
- ・令和4年度の計画について、継続して地域バスの運行を実施していく。

- ・目標値は、バス利用者減少を考慮し、収支率 20%から 16%に緩和した。
- ・今年度 10 月から実証運行中の熊・阿多古地域バスについては、補助対象となるか、静岡運輸支局と協議中であるが、補助対象外となる可能性が高く、申請時には削除する予定である。

●質疑応答

-なし-

●協議

結果 ・全会一致で了承された。

③ 生活交通改善事業計画

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業

【遠州鉄道株】

- ・令和元年度は線路、電路、信号、保安通信設備について安全輸送設備の投資を行った。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策も、バス、鉄道について実施したことを 118 ページ以降に記載している。
- ・令和 3 年度についても、継続して実施する。実施内容は 121 ページのとおりである。
- ・124 ページに収支改善計画を記載している。令和 2 年度はコロナ禍による利用減少により赤字となったが、令和 4 年度以降の黒字を目指した計画としている。

●質疑応答

-なし-

●協議

結果 ・全会一致で了承された。

バリアフリー化設備等整備事業（鉄道関係）

【遠州鉄道株】

- ・令和元年度は遠州病院駅、さぎの宮駅、遠州芝本駅の駅ホーム転落防止策等の工事を行った。
- ・令和 3 年度は美蘭中央公園駅、小林駅のホーム転落防止策等の工事の実施に加えて、八幡駅のバリアフリー化工事の実施を予定している。
- ・八幡駅のバリアフリー化工事は令和 4 年度の完了を予定している。

●質疑応答

-なし-

●協議

結果 ・全会一致で了承された。

バリアフリー化設備等整備事業（バス関係）

【遠州鉄道株】

・令和元年度は計画通り 12 台導入した。今回は新たな計画は立てず、評価だけを行う。

●質疑応答

-なし-

●協議

結果 ・全会一致で了承された。

(2) 天竜地域通園通学タクシーについて

【教育総務課】

- ・児童の通園・通学で利用している熊線、阿多古線、只来線に停留所を追加する。
- ・また、通園・通学タクシーに大倉線を追加する。
- ・時刻表、路線図は 132 ページ以降に記載のとおりである。

●質疑応答

-なし-

●協議

結果 ・全会一致で了承された。
・「**協調の調ったことを証する書類**」を交付する。

(3) 自主運行バス北遠本線の運行変更申請について

【天竜区まちづくり推進課】

- ・令和 2 年 7 月の豪雨に伴う国道 152 号の全面通行止め及び 10 月に発生した迂回路の通行止めにより、西鹿島駅から水窪町の南北の往来が不可能となっていた。
- ・復旧が進み、12 月 29 日より秋葉トンネルの暫定開通となり、南北の往来が可能となった。
- ・北遠本線については、災害箇所が未だに残り、長期にわたって一部迂回運行が続くことから、運行経路の変更申請を行う。
- ・路線図、時刻表は 141 ページ以降に記載のとおりである。

●質疑応答

【中部運輸局静岡運輸支局首席運輸企画専門官 江間委員】

- ・国庫補助路線の対象路線であるので、変更申請は交通事業者と協議しながら進めてもらいたい。また、道路の復旧に伴い、運行が元通りになれば、再度申請が必要となるので、忘れないでほしい。

【天竜区まちづくり推進課】

- ・道路が復旧した際には、あらためて、申請するようにする。

●協議

結果	<ul style="list-style-type: none">・全会一致で了承された。・「協調の調ったことを証する書類」を交付する。
-----------	--

〔報告事項〕

(1) バス事業の現状と今後の路線運営について

【遠州鉄道株】

- ・バス事業を取り巻く環境は、児童数の減少、バス運転手不足など厳しい環境にあったが、新型コロナウイルスの影響により、さらに、大きく利用者が減った。
- ・一回目の緊急事態宣言後に回復傾向にあったが、現在は前年の7割程度に留まっている。
- ・3割以上の減収が今後も継続すれば、億単位の赤字が見込まれる状況である。
- ・自社努力として、バスの営業所8拠点のうち2拠点を廃止、1拠点を休止とした。
- ・鉄道についても4駅を無人化した。
- ・昨年10月に、路線バスの約1割の路線削減を行った。このことについては、利用者から不便になったとの声があり、心苦しく感じている。
- ・今後も、ニューノーマルの生活様式が継続することが想定されることから、減便・退出を検討せざるを得ないと考えている。
- ・公共交通を維持するための協力をお願いしたいとともに、今後の運行に変更があるようならば、この会議で報告させていただく。

●質疑応答

【中部運輸局静岡運輸支局首席運輸企画専門官 江間委員】

- ・昨年、地域公共交通の活性化再生法の法律が改正・施行され、地域が自らデザインする公共交通が必要となる。事業者だけでなく、自治体、地域が一体となって、自らデザインしていくことが、大切である。
- ・今後、事業者から退出の申し出があった場合、この会議でも代替手段について話し合っていくことが大事である。

(2) 引佐地域バスのバス廃止及び新設について

【北区まちづくり推進課】

- ・引佐地域バスのいなさの里バス停について、歩道拡幅工事に伴い、停留所の設置が困難となり、現在のバス停を廃止し、隣接地に新設する。
- ・引佐地域検討会で事前に協議を諮っており、地域は承諾済みである。

●質疑応答

-なし-

(3) 豪雨災害に伴う通行止め等の対応について(天竜地域バス(門原線))

【天竜区まちづくり推進課】

- ・天竜地域バス門原線について、天竜区龍山地内で発生した国道152号及び迂回路の法面崩壊により、自主運行バス北遠本線の運行が通常運行とは異なる運行となったため、路線バスの結節点である山東まで運行を延伸した。
- ・また、天竜区竜川地内の法面崩壊により、通行止め区間が発生し、迂回路が存在しないことから、最寄りの路線バスの結節点である春野ふれあい公園バス停まで新規に運行した。
- ・2月3日に道路工事終了予定であることから、2月5日から通常運行に戻す予定である。
- ・住民への周知は1月20日号で回覧し、周知を行う予定である。

●質疑応答

-なし-

(4) 地域公共交通会議 書面開催議決事項について

(天竜地域バス(熊・阿多古線)の運賃・バス停名の訂正)

【天竜区まちづくり推進課】

- ・11月27日付けで書面会議を行った、天竜地域バス(熊・阿多古線)について、運賃・バス停名に誤りがあったので、修正した。
- ・修正前の運賃を利用した実績はなかった。
- ・委員22名全員から異議なしとの回答であったことを報告する。

●質疑応答

-なし-

(5) 浜松市総合交通計画・浜松市地域公共交通網形成計画の見直しについて

【交通政策課】

- ・浜松市で策定を進めている、浜松市総合交通計画及び浜松市地域公共交通網形成計画について、昨年市民の意見を問うパブリックコメントを実施した。
- ・浜松市総合交通計画は184件、浜松市地域公共交通網形成計画は198件の意見があった。
- ・主な意見としては、環状方向のバス路線に関する意見、交通結節点に関する意見、

地域バスの維持基準に関する意見、LRTやMaasなど新たな交通やサービスに関する意見があった。

- ・計画への追加事項として、新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性に関するページを追加した。

●質疑応答

-なし-

4 時期委員の選出について

【交通政策課】

- ・本年3月31日をもって、委員任期満了となることから、次年度以降も継続して委員をお願いしたい。
- ・6月に実施する次回会議に、委嘱書を用意する。

5 その他

【土木部長】

- ・国道152号の災害について、地域交通を含め、生活に密着する道路であり、円滑に一部開通に向けて対応いただき感謝申し上げます。
- ・国道152号の通行止めの原因となった秋葉トンネル及び斜面崩壊については、いずれも暫定の開通であり、連続雨量100ミリ、震度4以上の災害が発生すれば、再び通行止めになることもある。
- ・今後も完全復旧に向けて、努力していくので、ご理解いただきたい。

6 閉会